稲わら腐熟促進剤

粒状石灰窒素

20kg入り
収穫後の稲わら
500kgあたり1～2袋／10a

わらゴールド

15kg入り
10aあたり2～3袋
●微生物の働きで、稲わらの腐熟を促進。

稲わら分解促進材 アグリ革命

2kg入り
10aあたり1袋(2kg)
●動力散布機でも撒けます。
●酵素で稲わらを分解。

土づくり肥料

とれ太郎

20kg入り
10aあたり4～5袋
●倒伏軽減
●品質向上・安定多収

保証成分(%)			
溶性りん酸	溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分
6.0	12.0	30.0	45.0

含有成分(%)
鉄
3.0

粒状ミネGスーパー

15kg入り
10aあたり
一般圃場：6～8袋
地力低下・稲わらが多い圃場：8～10袋
「アグリ革命」と併用する場合：4～6袋

含有成分(%)					
アルカリ分	溶性石灰	溶性苦土	可溶性けい酸	酸化鉄	溶性マンガン
48～52	30～35	10～12	13～16	16～20	1.0～2.0

含有成分			
溶性りん酸	溶性ほう素	亜鉛・銅・モリブデン	有機物(含腐食酸)
1.5～3.0	400ppm～800ppm	微量	4～6

セルカ オイスターミネラル

20kg入り
10aあたり5袋
●ケイ酸+カキ殻のダブル効果!
●稲の体力づくりにオススメ!

保証成分(%)	
可溶性けい酸	アルカリ分
17	45

含有成分
苦土：3%、カルシウム、鉄、マンガン、ホウ素、亜鉛 他

資材を使用する前に・・・

稲わらの分解が進んでいないと、田植え後、気温の上昇により**ワキ**(分解に伴うガス)の発生が多くなり、初期生育の停滞による茎数不足等が懸念されます。
わらを分解する微生物が活発に働く期間を確保するために、出来るだけ早く腐熟促進材とともにすき込むようにしましょう。

●LINE 公式アカウント「営農タイムリー」でも
旬な営農情報を随時発信中!!
登録はこちらから→

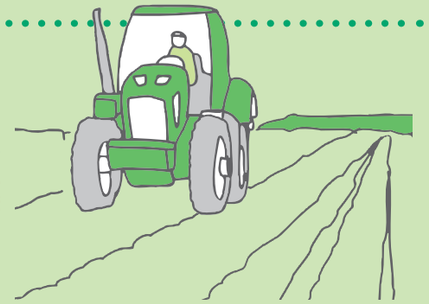
「土づくり」と「深耕」で「気象変動に備えた稲づくり」を行いましょう!!

営農支援課　TAC
堀井　崇史

水田の土づくりのポイント

土づくりの効果は、土が本来もつ養分供給力を高めるだけでなく、水稲の根の活力を高めて養分の吸収力を向上させたり、また急激な環境変化に対する抵抗力を持たせたりすることです。今回は土づくりを行う中でのポイントとオススメの資材をご紹介します。

ポイントその1 15cm以上の深耕を心がけましょう!



作土が浅いと肥料の効果が持続しないで、根の活力が早く弱まります。そのため、枯れ上がりや倒伏が多くなって収量・品質とも悪くなります。トラクターの速度とロータリーの回転数を遅くして、深耕を心がけましょう。

ポイントその2 稲わらを田んぼにかえしましょう!

コンバインで収穫と同時に裁断され水田に残された稲わらは、土の中で分解しにくいため、腐熟が不十分だと稲の生育にも悪影響を及ぼすことがあります。
できるだけ年内に、遅くとも田植えの2ケ月前までに**腐熟促進剤(石灰チッソ・わらゴールド・アグリ革命等)**と一緒にすき込みましょう。

ポイントその3 土壌改良資材(土づくり肥料)を投入しましょう!

ケイ酸、石灰、苦土(マグネシウム)、鉄、マンガンなどの養分を補給するため、土壌改良資材を投入しましょう。**土壌改良剤**を施用することにより、**葉や茎を硬くして、害虫や倒伏に強くなります**。また、根の活力を高めるので病気にも強くなり、秋落ち傾向が出にくくなります。

土壌改良資材の使用量について

普通田には「**とれ太郎**」10aあたり4～5袋、又は、「**オイスターミネラル**」10aあたり5袋、秋落田(夏過ぎごろから生育が悪くなり収量が低くなる田んぼ)には、「**ミネGスーパー**」を10a当たり6～8袋を**稲わら**すき込み前に全面散布しましょう。

営農経済部からのお知らせ

JAねっとショップ はじめます 2023年中スタート!

JAねっとショップとは?～4つのいいこと～

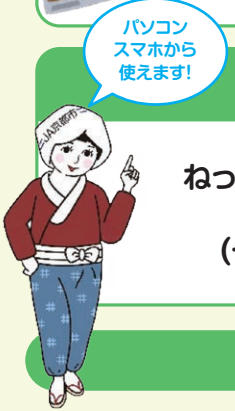
その1

肥料や農薬を
いつでも、どこからでも
気軽に注文

その2

過去の購入履歴が、簡単に検索
予約品の一部は、
履歴から前年実績数をコピーし
発注が可能

その3



ねっとショップ値引きで
お求めやすく
(一部品目を除く)

その4

肥料や農薬の
詳しい商品情報を提供
メーカーサイトへのリンクあり
(一部品目除く)

詳細は後日あらためてご案内いたします